

編 集 後 記

今季は記録的な暖冬でした。編集作業を行っていても、ひどく寒いと感じた日がないほどでした。読者の方々がこの号を手にしておられるころは、もはや湖面に花の影が映る季節となっていることでしょう。歯学部ニュースは、対外的には多くの方々の理解をはかり、対内的には自分たちの共通の場を互いに確認するという、歯学部における広報の一翼を担う大事な刊行物であるとおもいます。このたび、私は初めての編集担当でしかも責任者という役回りでした。不慣れなことに加え、予想外のアクシデントにも遭遇し、発行までどうやって漕ぎつけようかと案じたときもありました。そうしたときには、心ある方々にアドバイスとご支援を仰ぎ、ようやくここまでたどりつくことができました。また、執筆していただいた方々には早い対応をしていただきありがたく感じております。本号を手にとられました方々には、どうか全編を隈なくお読みいただければ幸いに存じます。

口腔衛生支援学 八木 稔

編集委員を依頼されたとき、「またか」と思い、その人選に納得いきませんでしたがこの号の編集委員を務めることになりました。さて、編集後記に何を書けばよいかと迷ったところ、過去の編集後記を参考としてくださるとの編集委員長からのアドバイスで手元の歯学部ニュースを読んでみました。編集委員とはいっても楽をしましたとか、原稿を依頼しただけとか書いてあるものが多かった。という私も原稿の依頼の多くは「メール」等でお願ひしてしまいました。このようなご無礼をお許しいただき、年度末でお忙しいところ原稿を執筆していただいた方々に御礼申し上げます。

生体材料学 大川 成剛

初めて編集を担当させて頂きました。お忙しい中、急なお願いにも快く引き受けて下さった事務の方や、お友達の原稿の校正をしてくれた同僚の先生など、執筆者以外の方のご協力も加わりできあがりしました。最近、交流が滞っていた他の編集の先生達ともお話しできて楽しかったです。多くの人に感謝いたします。ありがとうございました。

加齢歯科補綴学 北村絵里子

今回初めて歯学部ニュースの編集員を担当させて頂きました。仕事の内容を全く知らなかった私でも広報委員会の大島勇人教授をはじめ、編集委員長の八木 稔助教授、他の編集委員の方々のおかげで与えられたタスクをなんとか無事に済ませました。ご指導、ご協力をいただき、どうもありがとうございました。

また、たいへん忙しい時期に快く執筆を引き受けていただいた先生方に心より御礼を申し上げます。

口腔介護支援学 Stegaroiu Roxana

この度初めて歯学部ニュースの編集員を担当しました。全学的に部局単位でこのような広報誌を存続させているところは歯学部だけと聞き、どことなく誇らしげに感じます。まさにその時々の歯学部を刻んでいる「歯学部ニュース」。改めて本学部の人材の素晴らしさを知り、高め合う人が集うからこそ歯学部があるのだと再認識しました。

摂食機能再建学 飛田 滋

表紙・裏表紙の写真の説明

撮 影 地：アメリカ合衆国・サンタモニカ
撮影データ：リコー GR Digital/GR レンズ5.9mm F2.4/プログラムオート/記録画素数 3264×2448/ISO64/ホワイトバランス：オート

撮 影 地：インド・バンガロール
撮影データ：オリンパス E-500/ズイコーデジタル14-54mm F2.8-3.5/絞り優先オート/記録画素数 3264×2448/ISO200/ホワイトバランス：太陽光

コ メ ント：今回は、表紙・裏表紙ともに広角レンズで揃えてみました。いずれも35mm判フィルムに換算して28mm相当の広角レンズによる撮影です。レンズの焦点距離といえば、写真家の高梨豊氏が経験論的に唱えた、「焦点距離＝年齢」説が有名です。これによれば、20歳であれば20mmが、50歳であれば50mmが生理的に合うということになるようです。そこからすると、今回の写真はいずれも撮影者は28歳のつもりで撮影したことになるのですが、いかがでしょうか。

28mmの画角は最近ではコンパクトデジタルカメラでも一般化してきていますが、広い範囲を簡単に写すことが出来る代わりに、画面の構成を考えないと説明的で散漫になってしまう欠点があります。写真関連の指南書などには、できるだけ被写体に近づいて撮影するのがポイントであると書かれているようですが、容易に得られるパースペクティブに惑わされて、特有の画面効果ばかり多用しがちになってしまいがちです。そろそろ標準レンズが似合う年頃なのですが、最近では300mm相当のマクロレンズもよく使っています。そうすると年齢は？

本誌中の写真の使用機材

ボ デ ィ：オリンパス E-500、E-300、μ710、キヤノン EOS Kiss Digital、リコー GR Digital

レ ン ズ：ズイコーデジタル ED 50mm F2.0マクロ、ズイコーデジタル11-22mm F2.8-3.5、ズイコーデジタル14-54mm F2.8-3.5、ズイコーデジタル40-150mm F3.5-4.5、シグマ APO MACRO 150mm F2.8 EX DG HSM、オリンパスレンズ6.5-19.5mm F3.4-5.7、キヤノン EF 100mm F2.8マクロ、GR レンズ5.9mm F2.4

撮 影 者：林 孝文（2007年1月31日 記）

歯学部ニュース

平成18年度第2号（通算110号）

発 行 者 新潟大学歯学部広報委員会

編集責任者 八 木 稔

編 集 委 員 大川 成剛、北村絵里子、
Stegaroiu Roxana、飛田 滋

印 刷 所 (株)プライムステーション